

Ⅲ-2 「みんなで紡ぐ」重点プロジェクト

- 1 重点プロジェクトの趣旨
- 2 重点プロジェクトの施策体系
- 3 重点プロジェクトの展開



Ⅲ-2 「みんなで紡ぐ」重点プロジェクト

1 重点プロジェクトの趣旨

将来像である『ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さつま町』の実現に向けて、平成28年度から5年間の前期基本計画期間内に推進する事業のうち、特に優先的・重点的な取り組みとして、基本構想に定める「ひと」、「まち」、「自然」の3つの基本方針に沿って位置づけるものです。

なお、このプロジェクトは、町民、地域、各種団体、事業者、行政などの多様な主体の協働による取り組みとして、「みんなで紡ぐ」をキーワードに横断的な視点で進めます。

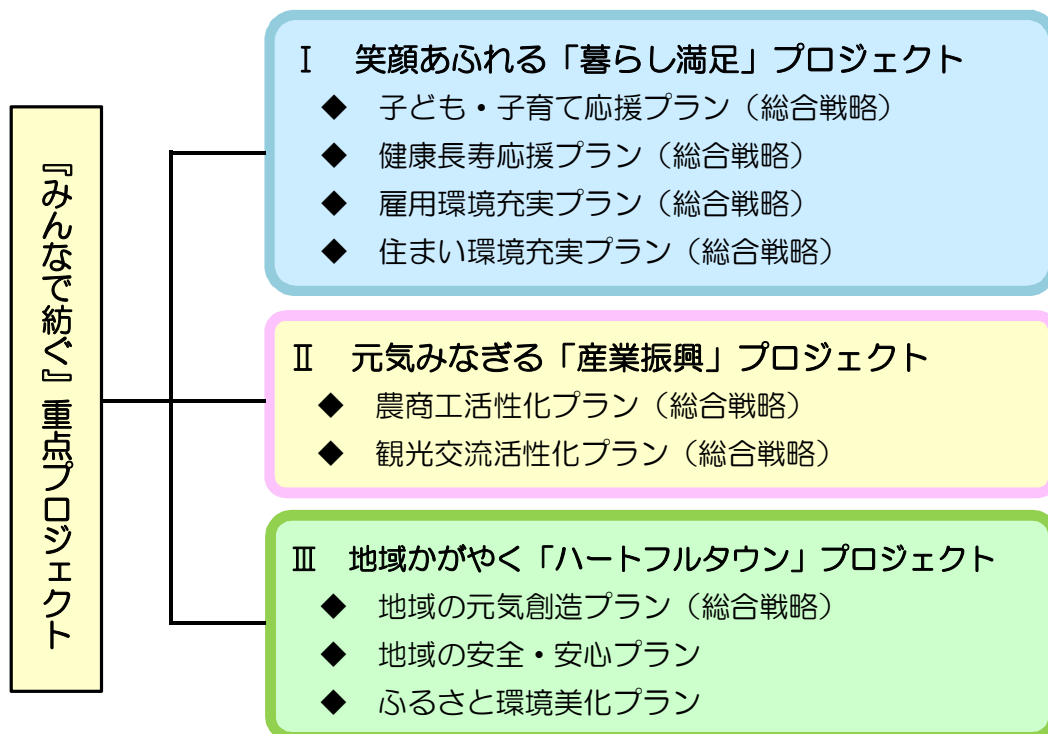
また、本町の人口減少克服と地方創生を目的として、平成27年度に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」との整合を図り、総合戦略事業を重点プロジェクトに盛り込みました。

このようなことから、人口減少問題を我が町の最重要課題として捉え、これまでの長い歴史の中で先人たちが築き上げてきた、歴史や文化・伝統を守りつつ、人々の対話や盛んな交流を通して共に紡ぎあいながら、「このまちに住んでみたい」「このまちに住んでよかった」と思える、生涯幸福度の高いまちを目指すための重点的な政策として、

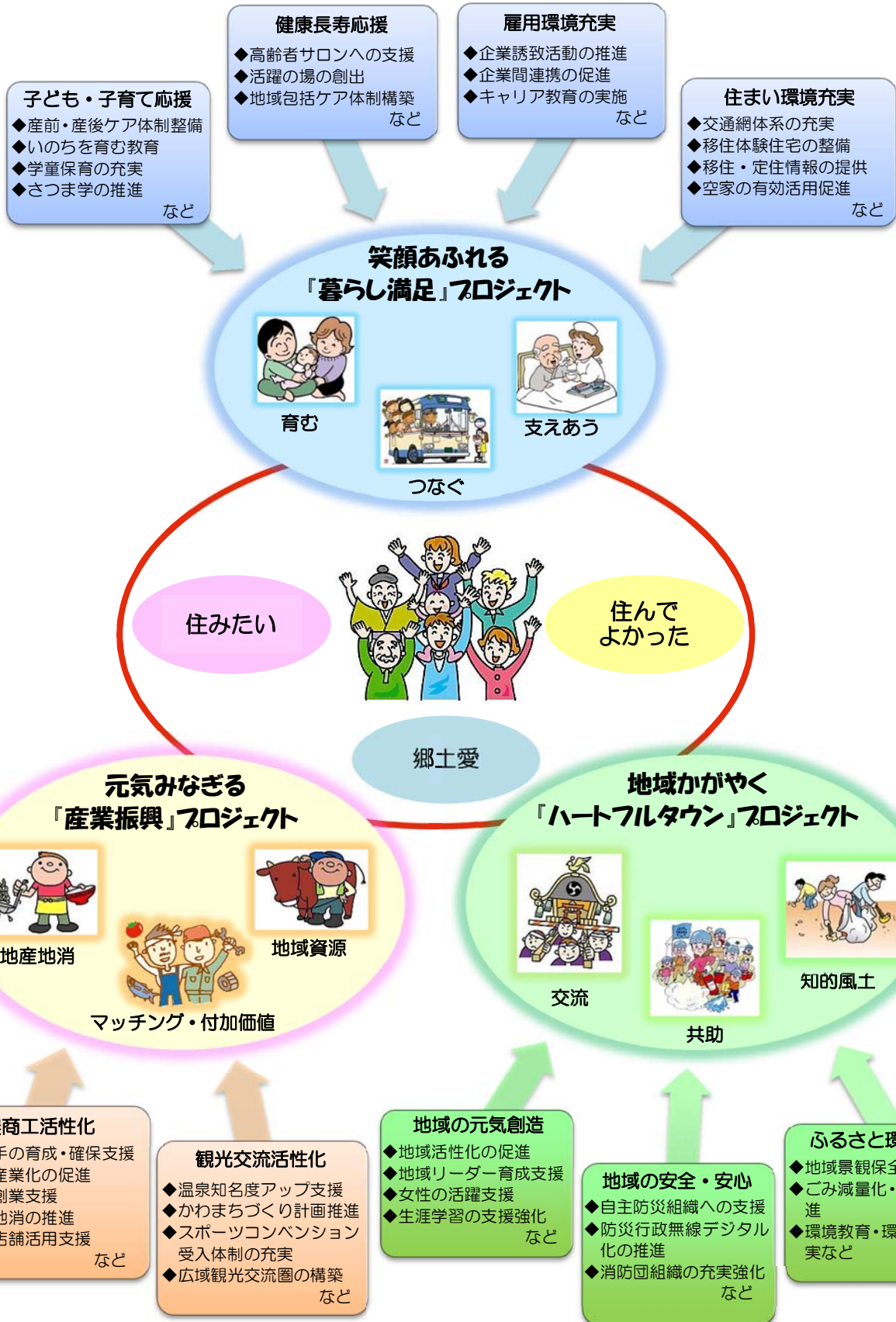
『みんなで紡ぐ』重点プロジェクト

に取り組みます。

2 重点プロジェクトの施策体系



「みんなで紡ぐ」重点プロジェクトのイメージ図



3 重点プロジェクトの展開

I 笑顔あふれる「暮らし満足」プロジェクト

(1) 子ども・子育て応援プラン

産前・産後ケアの支援や子育て家庭への経済的支援、また、学校教育や保育事業所、子育て支援施設、地域での郷土教育の充実など、子どもを産み、健やかな成長のために適切な環境が確保されるよう充実した取り組みを進めます。

No.	重点施策	主な取り組み内容
①	子育て環境の充実	◆ 産後の母親に対して、産科病院または助産施設等を利用し、宿泊型のサービスを提供する体制を整え、安心して育児ができるよう支援に努めます。
②	保護者の経済的負担軽減	◆ 保育料を助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。
③	きめ細やかな子育て支援	◆ 将来の母親・父親になる児童・生徒に対するいのちを育む教育や保護者を対象にした育児フォーラムなどに取り組み、子育て支援に努めます。
④	子育て世帯を支援する地域づくり	◆ 子育て支援コーディネーター等による情報提供・相談・助言を行える体制を整えるとともに、子育て世代包括支援センター等を設置し、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に努めます。
⑤	子どもが健やかに成長する環境の整備	◆ 学童保育を充実させることにより、学校・関係機関・家庭が連携して子育て支援に努めます。
⑥	学校教育の充実	◆ 夏休み期間等に本町出身の大学生が帰省し、児童生徒が教育を通じて先輩との交流を深めることにより、お互いの成長を促し、青少年の健全育成を図ります。 ◆ 自然・産業・文化などを活かした「さつま学」を推進し、郷土に誇りを持ち、志の高い子どもの育成に努めます。
⑦	薩摩中央高等学校との連携	◆ 薩摩中央高等学校生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るなど、就学支援を行うことで、高校の振興及びイメージアップを図ります。

(2) 健康長寿応援プラン

生涯を幸福で充実したものとするために健康は欠かせません。健康で生き生きと暮らすには、寿命が長くなるだけでなく、寝たきりや認知症になることを予防し、心身ともに自立して生活できる健康寿命の延伸を図ることが大切です。

このようなことから、健康さつま21に基づき健康増進への取り組みを進めるとともに、生涯を住みなれた地域で過ごすことのできるよう地域包括ケア体制の充実に努めます。

No.	重点施策	主な取り組み内容
①	生きがいづくりの推進	◆ 高齢者ふれあいいきいきサロンの実施回数を増やし、また、未組織公民会のサロンの組織化を推進しながら、高齢者の生きがいや健康づくり、介護予防の促進に努めます。 ◆ 高齢者が地域内で積極的な役割を担い、生きがいを感じながら活躍することのできる場の創出に努めます。
②	安心して暮らせるまちづくりの推進	◆ 「ころばん体操」などの普及を図り、元気な高齢者の育成に努めながら、地域に必要な支援は、地域の元気高齢者で支える [*] インフォーマルサービスの充実に努めます。

※インフォーマルサービスとは

自治体や専門機関など、フォーマル（正式）な介護保険等の法律・制度に基づき提供される支援ではなく、家族や友人、地域住民、ボランティアなどによる、制度に基づかない非公式な支援のこと

(3) 雇用環境充実プラン

生活の根幹である就業の場を充実・確保するため、トップセールスなど積極的な企業誘致活動に取り組むとともに、ハローワークや町内誘致企業などとの密接な連携・情報共有を図りながら、事業規模の拡大や雇用の確保に向けた支援策の充実に努めます。

No.	重点施策	主な取り組み内容
①	企業誘致活動の推進強化と雇用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 町内に事業所の新設・増設等をしようとする事業者に対して、土地、建物及び設備の取得に要した経費を助成し、地元雇用の促進に努めます。 ◆ 食品関連産業の誘致に取り組むとともに、企業誘致を行うために必要な基礎調査等に努めます。 ◆ 町内企業等のネットワークを活用するとともに、企業振興のための組織づくりを支援し、情報収集や企業活動の促進を図ります。 ◆ 薩摩中央高等学校の生徒が町内企業を訪問し、会社を知る機会をつくるとともに、経営者等による特別講座の実施に努めます。 ◆ ハローワークと連携し、移住・定住の情報提供等におけるワンストップサービス機能の強化に努めます。

(4) 住まい環境充実プラン

移住者の住宅取得やリフォーム等に対する支援、本町での暮らしを体験してもらう取り組みなどにより、移住者を受け入れやすい体制の構築に努めます。

また、まちづくりや観光振興を含め、町外からの来訪者に対して、わかりやすく利便性の高い交通網体系の整備により住まい環境の充実に努めます。



No.	重点施策	主な取り組み内容
①	利用しやすい交通体系の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交通ニーズを把握し、まちづくり施策と連携した利用しやすい交通体系の確立を図ります。
②	移住・定住対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 定住促進補助制度の拡充や公共施設を活用した住宅整備を実施することで、北薩地域におけるベッドタウン化の推進を図ります。 ◆ ハローワークと連携したワンストップサービスの強化やふるさと回帰支援センター等を活用した情報発信の強化に努めます。 ◆ 町外で暮らす大学生など若い出郷者への親元からの物品の仕送りに対し、専用の宅配箱の活用と併せて、ふるさと情報の発信によるUターン促進を図ります。 ◆ 企業や各種団体、婚活サポーター等と協力し、異業種交流による出会いの場を創出することで、“運命の出会い”につながる活動支援に努めます。
③	空家対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 空き家情報バンクへの登録・活用の促進や空家住宅へのリフォーム費用の助成などにより、定住対策として空家の有効活用を図ります。

Ⅱ 元気みなぎる「産業振興」プロジェクト

(1) 農商工活性化プラン

元気なまちの象徴として、地場産業の活力は欠かせないことから、地域資源を最大限に活用して、産業界、行政、大学等の教育機関、金融機関、労働団体、メディア、地域コミュニティなど多様な主体の連携・交流により、6次産業化をはじめとする新産業の創出や特産品の開発など地場産業の活性化に努めます。



No.	重点施策	主な取り組み内容
①	農林漁業担い手の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域農業の担い手の減少を食い止めるために、地元畜産農家や意欲ある農業者と連携して、就農支援のための各種研修制度の構築に努めます。
②	地域資源を活かしたブランド化・産地化と交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 農産物加工施設の整備や販路開拓に向けた事業支援、教育機関等と連携した研究・開発の推進など、まちぐるみで6次産業化の促進に努めます。 ◆ ブランド戦略に関わるあらゆるプレーヤーと協力し、「薩摩のさつま」ブランドの積極的なプロモーション活動の展開を図ります。 ◆ パルプ用竹材の買取支援や竹林所有者と利用者のマッチングを推進することで、竹林整備を促進し、安定供給体制の構築を図ります。 ◆ 「竹」資源を最大限活用するために、新たな素材としての活用促進とともに、竹製品の芸術性を高めるなど「竹」のイメージアップ及び「竹の町」のイメージ確立を図ります。
③	安全・安心で環境に優しい食の供給	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地産地消の推進に向け、物産館の機能を強化するとともに、空家や空き校舎等を活用した農家レストランなど、新たなビジネスの展開を図ります。
④	商業の活性化と経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新規創業をめざす方への支援活動や助成事業等により、新規創業者をはじめ、後継者の育成・確保に努めます。 ◆ 地元商店街を魅力あるものにするために、各種イベントや空き店舗活用等への支援に努めるとともに、商店街活性化のための組織づくりを支援します。
⑤	地域資源を活かしたもののづくりや新産業の創出と市場開拓	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 農産物の付加価値を高めるため、農産物加工施設の整備を図るとともに、消費者ニーズに対応した加工品の試作、デザイン、パッケージ、ネット販売など販路開拓につながる取組支援に努めます。 ◆ 新規創業を目指す方に対し、関係機関・団体との連携を図りながら、商工会による開業準備の進め方や事業計画の作成など創業支援に努めます。

(2) 観光交流活性化プラン

本町の魅力を最大限に発揮し、交流人口の増加による観光振興を図るため、地域資源を活用した商品開発や広域観光ルートの構築を進めるとともに、メディア等と連携した情報発信の強化に努めます。また、観光・文化財ボランティアや地域の人々との交流による温かいおもてなしにより、来町された人々に十分に満足いただけるよう、「つながり・おもてなしのまちづくり」を促進します。



No.	重点施策	主な取り組み内容
①	地域資源を活かした観光のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 旅館等の施設整備への支援を継続するとともに、温泉ガイドブックや温泉の一日利用券などイメージ戦略による受入態勢の整備と温泉の知名度アップ・利用促進を図ります。 ◆ 観光特産品協会の法人化への取り組みを支援し、観光事業の推進や特産品の販売促進など、事業のけん引役として運営体制の見直し、強化を図ります。 ◆ 鶴田ダムを中心とした施設整備計画の策定やかまちづくり計画を推進し、ホテル舟や屋形船、鶴田ダム周辺施設など川内川の水辺環境の利活用により、交流人口の増加を図ります。 ◆ 地元メディア等と連携し、「美」をキーワードとした町の魅力の情報発信、地域資源を活用した商品開発などを行うことで、町全体の観光振興を図ります。 ◆ プロスポーツキャンプの誘致など地域の公共施設を活用したスポーツ合宿等の受入体制を充実し、交流人口の増加を図ります。
②	つながり・おもてなしの町づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 町内20の区公民館が取り組む地域の特色を活かしたイベント等の支援を行うことで、交流人口の拡大及び地域の活性化を図ります。 ◆ 川内川の豊かな自然を最大限活用するために、周辺自治体や各種団体と連携し、広域観光交流圏の構築を推進しながら交流人口の増加に努めます。 ◆ 町の玄関口としての宮之城鉄道記念館のバスターミナル機能強化など、観光拠点施設の再整備を図ります。
③	公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 芸術性や文化性を備えた北薩広域公園の整備を促進するとともに、ちくりん公園及びかぐや姫グラウンドを再整備することで、周辺の一体的な利活用と魅力アップを図ります。

Ⅲ 地域かがやく「ハートフルタウン」プロジェクト

(1) 地域の元気創造プラン

移住者を受け入れる一番身近な組織として、地域の果たす役割は大きいことから、「地域づくり活性化計画」を柱に、各地区が進める特色ある取り組みを支援し、地区外の人々との交流促進により、元気で魅力ある地域づくりを進めます。

No.	重点施策	主な取り組み内容
①	多様な主体の参加による地域活性化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公民会や地域のボランティア団体等が実施する住民参画による社会貢献や地域づくり活動を支援し、地域活性化の促進に努めます。 ◆ 地域コミュニティの現状を把握・分析し、これからの地域づくりの方向性や本町に適した地域活動、組織体制の提案に努めます。 ◆ 女性の活躍を支援するとともに、地域活動を通して、次世代を担う地域リーダーの育成に努めます。 ◆ 総合戦略コーディネーターを設置し、住民自治による地域づくりを推進するなかで、地域リーダーの積極的な育成に努めます。 ◆ 「さつまの郷出前講座」の内容充実を図り、地域における生涯学習活動の支援強化に努めます。

(2) 地域の安全・安心プラン

自主防災組織の結成・活動促進と併せ、消防災害支援隊組織の充実や女性消防団員の登用、消防団組織の再編などにより、地域防災力の向上を図り、地域住民がいつでも安全・安心に暮らせる環境づくりに努めます。

No.	重点施策	主な取り組み内容
①	防災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自主防災組織の結成を促進し、防災訓練などの充実・強化により、自助・共助による地域防災力の強化を図ります。 ◆ 住民への情報伝達手段として活用している防災行政無線施設のデジタル化の推進に努めます。
②	地域防災力の中核である消防団体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 消防団組織の充実を図るため、団員確保や消防団の組織再編に努めます。

(3) ふるさと環境美化プラン

ごみ全体の排出量を抑制するために、リサイクル（再生利用）と併せて、リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）の推進により、ごみ減量化と資源化の更なる取り組みを強化し、環境に優しい循環型社会の構築と廃棄物処理施設の長寿命化に努めます。

また、自然環境をはじめとする大切な財産を次世代へ引き継ぐため、環境教育・環境学習の充実に努め、住民主体の活動による地域の環境美化を図ります。

No.	重点施策	主な取り組み内容
①	大切な財産を残す景観づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 次代を担う子どもたちにわが町にある大切な財産を残すため、地域の歴史・文化・自然に配慮したまちづくりを住民とともに推進し、住民自らの計画として共生・協働による景観づくりに努めます。
②	ごみ減量化及び資源化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ さつま町一般廃棄物処理基本計画に基づき、より一層のリサイクル、リユース、リデュースなど循環型社会の形成を推進し、環境負荷の軽減に努めます。
③	環境教育・学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 町民や事業者が意欲と主体性を持って環境問題に取り組めるよう広報紙やホームページ、出前講座等を充実させ、環境教育・環境学習の充実に努めます。